

震災を受けて学んだこと

①・石巻市被災状況

1 人的被害「平成23年8月12日現在」

「単位・人」

人口「2月現在」	死者	行方不明者
162,822	3,154	854

2 住家被害「平成23年8月12日現在」

	棟	世帯	人
全壊	19,107	19,900	51,100
半壊	13,170	13,700	35,100
浸水	17,435	18,200	46,600

3 ライフライン被害「震災当時」

電気供給停止戸数 96,277戸

水道供給停止戸数 60,661戸

ガス供給停止戸数 12,755戸

②・復興の基本理念

1 災害に強いまちづくり

東日本大震災では、福島・宮城・岩手に住む市民の約8割が被災し、電気・水道などのライフラインにも被害が出た。その、教訓をいかし、ただ復興させるのではなく、防災体制などを見直し、市民の命を守る災害に強いまちを念頭に、ライフラインの補完や快適な生活空間として新エネルギーを活かしたまちづくりを目指す。

2 産業・経済の再生

基幹産業である紙・パルプ製造業、飼肥料製造業、合板製造業及び食を支える農林水産業などが被害を受けた。今後、再建・復興を進めると共に、地域資源を活かした産業基盤づくりを図る。

3 絆と協働の共鳴社会づくり

人と人との結びつき・絆を大切にするとともに、市、企業、地域が総力を結集し、新たな町づくりに向かって共鳴しながら、豊かで支えあう地域社会の構築を図る。

③・復興への課題

- 1 地震と津波の襲来に対しての課題
 - ・ 住宅耐震補強対策の促進
 - ・ 堤防などの防御線の見直し
 - ・ 地震予測や津波予測システムの国への要請
- 2 避難所運営とその後の対応課題
 - ・ 避難所対応の根本的な見直し
- 3 公共施設の配置と指定避難所への課題
 - ・ 保育所や学校、病院、福祉施設の復旧と配置場所の再考
 - ・ 有事の際の避難先として民間の避難所、ビル等の提携
 - ・ 各種災害に対応した避難所の再検討と住民への周知
 - ・ 医療や介護が必要な方の福祉避難所整備
- 4 新エネルギー政策への動き
 - ・ 原子力発電対策の再確認
 - ・ 自然エネルギーの活用や新エネルギー施策の検討

——復興のためには、何が必要か。

復興には政府が国民の意見や気持ちを分かることが必要だと思う。

なぜかと言うと、今の政府は国民の意見や気持ちをあんまり聞いて分かっていないから復興が進まないからだと思ったからだ。今の政府に対して国民の意見や気持ちは選挙に表れると、思う。だから、選挙した後、政府は国民の意見や気持ちが分かり国民が納得いく政策が作れ、復興が速く進むのだと思う。